

東アジアNEWS vol.1 2016.3.22

◆いよいよ今週末、開幕！

3月26日（金）「東アジア文化都市 2016 奈良市」開幕を祝うオープニングを開催。
 一般申込みは定員を上回る申し込みがあり、第1部シンポジウム（応募者数 680 人）については抽選を実施。第2部も席数を増やして対応します。 **※当日参加不可**

現在の来場予定者（入場券発行数） (人)

	一般申込	招待者・関係者	計（当初定員）
第1部シンポジウム	228	130	358 (300)
第2部式典・ステージ	1,542	340	1,882 (1300)

◆蔡國強 “船をつくる” プロジェクト始動

中国から船大工 10 人がやってきて“船”を作ります。

3月26日のオープニングに合わせて東大寺鏡池横での公開制作開始に向けて、プロジェクトが動き出しました。

【今後の予定】 ～3月24日
 3月26日～4月中旬
 4月中旬～10月23日

船の骨格を制作（旧鼓阪幼稚園）
 東大寺鏡池参道脇で公開制作
 東大寺鏡池内に展示



東大寺鏡池横参道脇で公開制作（イメージ）

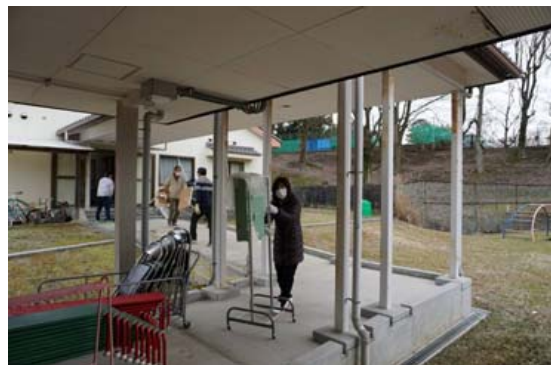


完成後は鏡池内に展示（イメージ）

◆アート作品（船）の制作とサポーター交流の拠点を開設

当事業では登録制の支援者（サポーター）を募集しています。このサポーターの交流の拠点と、蔡氏の“船をつくる”プロジェクトの制作の拠点を旧鼓阪幼稚園に開設しました。

開設に先立ち、3月10日拠点の片付けや清掃を職員とサポーターが一緒に行いました。



拠点開設に向け準備するサポーター

◆中国から船大工たちと船をつくる木材が到着

中国から“船をつくる”大工たちが3月15日に奈良に到着しました。これから約1か月にわたって、奈良（旧鼓阪幼稚園）で生活をしながら船をつくります。

船大工たちは26日のオープニング時の鏡池横での公開制作開始に向けて、早速、船の骨組みの制作に取りかかかっています。

3月13日



中国から船に使用する木材が到着

3月16日



船の骨組みを作る船大工

3月21日



迫力ある船首



船の全長は13m

3月24日夜にここを出て東大寺に向かいます

◆サポーターの名称決まる！

定期的に鼓阪幼稚園にサポーターが集まって勉強会・交流会を行っています。現在サポーターの登録者数は55名。3月21日の会議ではサポーター、サポーターの拠点の名前がシンボルプロジェクトである蔡國強氏の船をつくるプロジェクトに因み、下記のとおり決まりました。

■サポーター

NARA-SHIP クルー

■拠点

NARA-SHIP ワークハウス



サポーター会議の様子

◆食プロジェクト始動！



基幹事業である食部門のディレクターが船越雅代さんに決定。奈良の食文化を発信するプロジェクトが始まります。

船越さんのプロフィール

ニューヨークで美術大学（彫刻）に在学中、食を本格的に学ぶために料理学校に籍を移動。ニューヨーク、パリ、インドネシアのレストランのみならず、オーストラリアでは船上料理人という経験も積む。目の前の光景を、食材を使って"スケッチ"していく食のインスタレーションにも取り組んでいる。

担当：奈良市東アジア文化都市推進課
電話：0742-27-0120
FAX：0742-27-0121
Mail：culturecity-nara@city.nara.lg.jp



公式HP



Facebook



Twitter